

学校評価だより



令和7年2月19日発行
「今町中学校」で検索
E-mail: imachu@mitsuke-ngt.ed.jp

今町中学校は、日本の中学校創立の年にできた中学校の一つで、今年度創立77周年を迎えました。そして、創立以来、場所を移すことなく、ずっと同じ場所にあります。それだけ地域、保護者の期待と支援に支えられてきたのだと思います。

今年度も、保護者、地域、学校運営協議会などさまざまな方々のご尽力により、充実した教育活動を展開することができ、子ども達の成長を実感する1年となりました。感謝とともにこの1年間の取組の成果と課題について学校評価アンケートをもとにお知らせいたします。

今後とも伝統ある今町中学校が地域の皆様に愛され、今町の未来を担う子どもを育ていけるよう取り組んでまいります。なお一層のご支援とご協力をお願いいたします。

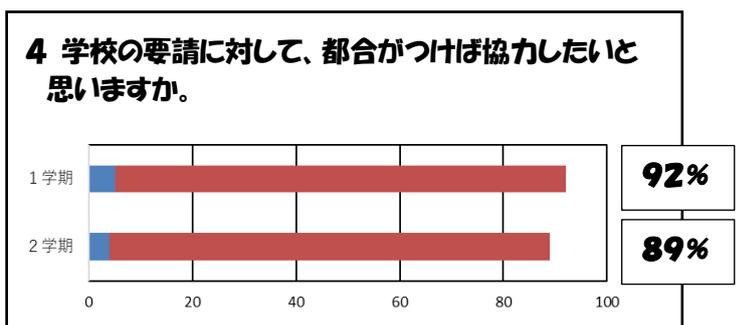
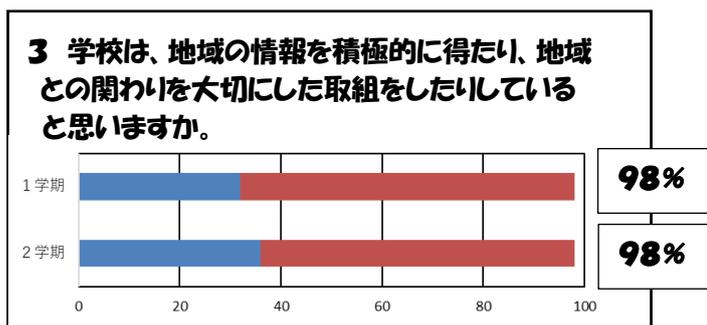
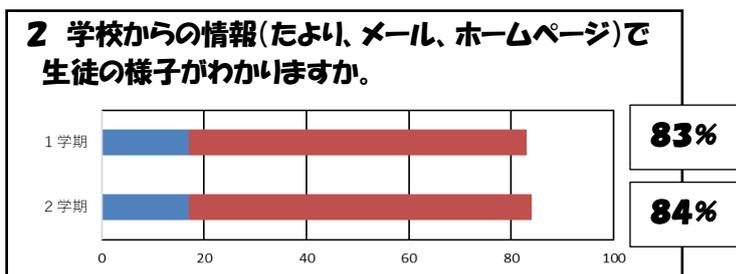
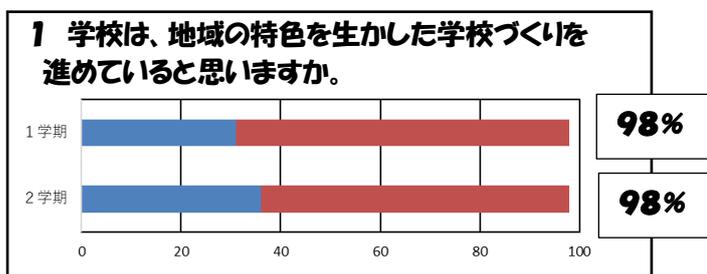


家庭、地域との確かな連携と協働

～保護者アンケートの肯定的評価（よく思う・だいたい思う）の割合（1・2学期の比較）～

（上段1学期、下段2学期）

■ よく思う
■ だいたい思う



○4項目とも肯定的評価が80%を超えています。今後とも家庭、地域との協働体制を進めてまいります。

【地域・保護者等からご協力いただいた活動、地域と協働した活動】

- ・ 体育祭前のPTAによるグラウンド整備、側溝の泥上げ
- ・ PTA、学校運営協議会による風雄祭での芸能発表、New ワンディマッチ
- ・ 今町ガイドグループなびらーずの方々による今町歴史散歩
- ・ 地域人材や地元企業の協力による職業体験、職業講話
- ・ 今町大凧協会、凧組の方々からの凧作りや大凧合戦の体験
- ・ 民生委員児童委員の方々の毎月の朝のあいさつ運動
- ・ 今町まちなかコミュニティ主催の科学講演会
- ・ 今町まちあるきマルシェでのブース出店(科学部)、米善看板製作(美術部)
- ・ 諏訪神社清掃の実施(1年生)
- ・ 春季例大祭巡行(白張)への生徒参加



<知育>

育てる力 自ら学ぶ目的をもち、仲間とともに主体的に追究する力

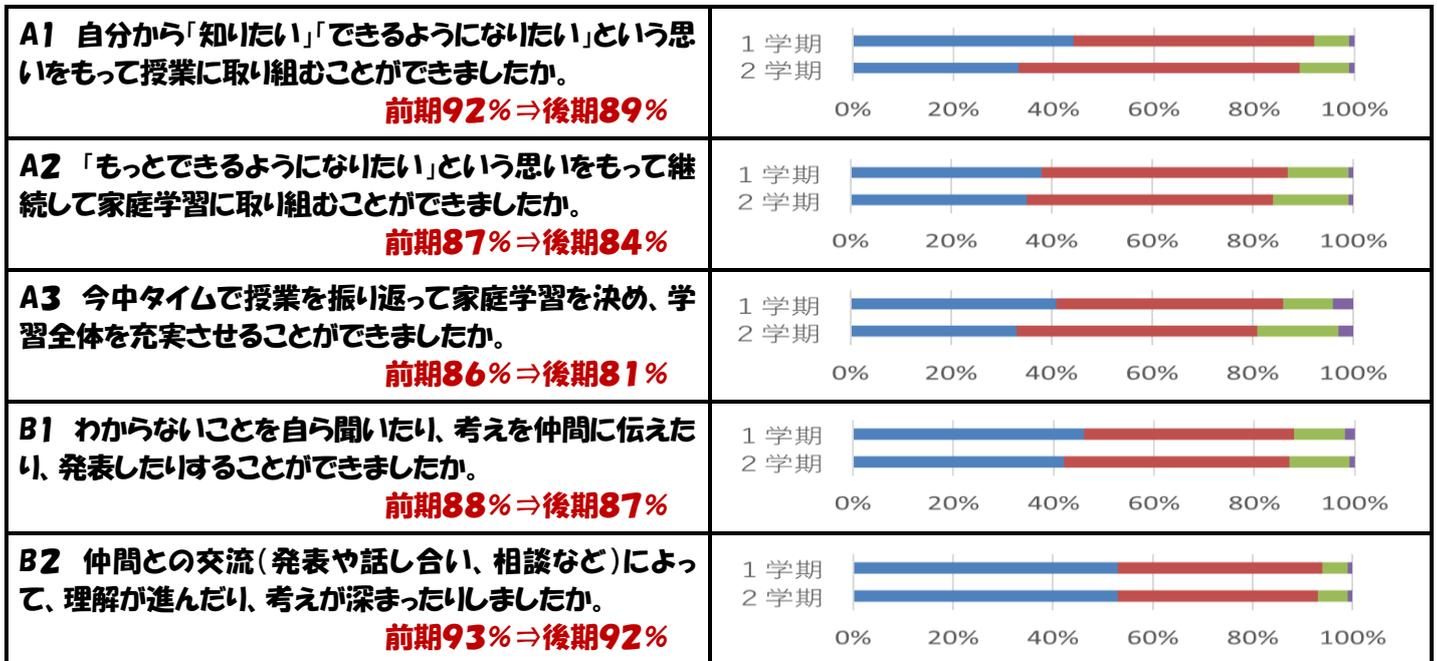
具体的取組

- A 生徒それぞれが学ぶ目的を意識できる授業を工夫します。
今中タイムで家庭学習に向かうことができるように支援します。
- B 生徒が相互交流しながら主体的に追究する授業を実践します。



<生徒のアンケート結果> (目標 肯定的評価80%以上)

■よくあった ■だいたいあった ■あまりなかった ■ほとんどなかった



分析評価

日々の授業で、学習の目的を明確に意識づける授業を展開することで、学習内容の確実な定着に努めた点が、生徒の学習意欲の肯定的評価の高さにつながりました。また、生徒の相互交流を促す授業を各教科で意識的に取り入れたことで、考えの深まりや広がりを実感できた生徒が増加しました。

今後の取組

生徒が自分で調べたり仲間と交流して深めたりしたことを、自分なりにまとめて発表・記述する表現力の育成に努めます。また毎授業の「振り返り」を、生徒が自分の主体性の成長や思考の変容を自覚できる機会と捉え、授業改善に生かします。今中タイムを今後も重視し、家庭学習の充実を図ります。

<徳育>

育てる力 主体的に他と関わり、協力して活動する力

具体的取組

- A 生徒が進んで相手に伝わる挨拶を交わせるよう支援します。
- B 授業、学級、部活動、委員会、行事などで生徒が主体となって活動し、自他のよさに目を向け、協力して活動する機会を取り入れます。

<生徒のアンケート結果> (目標 肯定的評価80%以上)

■よくあった ■だいたいあった ■あまりなかった ■ほとんどなかった



<p>B1 授業、学級、部活、委員会、行事などで、主体的に活動しましたか。</p> <p style="text-align: center;">前期92%⇒後期94%</p>	
<p>B2 授業、学級、部活、委員会、行事などで、自分や友達の良いさに気づき、自分から協力して活動できましたか。</p> <p style="text-align: center;">前期86%⇒後期91%</p>	

分析評価
 委員会のキャンペーンや小学校との連携によって、昨年度よりも挨拶の声が大きくなってきました。体育祭や合唱コンクールなどの行事の振り返りを通して、自分や友達の良いさについての記述が各学年で多く見られました。また、全校縦割り班活動や学年委員会の「人間関係の固定化解消に向けた取組」などでさまざまな人との関わりを増やしていこうとする雰囲気を醸成することができました。

今後の取組
 委員会などを活用し、教員だけでなく生徒自身が方策を考えるなどして、自分から挨拶する生徒や大きな声で挨拶を返す生徒を増やすことで、挨拶を通して人間関係の広がりや活性化を目指します。挨拶に関する活動も含め、生徒が主体的に活動を企画しながら他の人と関わる行事や活動を増やしていきます。

<体育>

育てる力 自分の健康に関心をもって生活する力

具体的取組

A 各学年の実態に応じた睡眠やメディア利用の指導を行います。
 学期に1回の健康チェック週間を設け、睡眠やメディア利用時間について振り返ります。

B 体力向上のために、授業でのウォーミングアップや体づくり運動を充実させます。

<生徒のアンケート結果> (目標 肯定的評価80%以上)

■よくあった ■だいたいあった ■あまりなかった ■ほとんどなかった

<p>A1 健康維持のために、夜23時までに就寝する、また就寝時間が遅い場合は、早める努力ができましたか。</p> <p style="text-align: center;">前期74%⇒後期82%</p>	
<p>A2 健康維持のためにメディア時間をコントロールして生活することができましたか。</p> <p style="text-align: center;">前期77%⇒後期74%</p>	
<p>A3 健康チェック週間で立てた目標を普段の生活に生かして、取り組むことができましたか。</p> <p style="text-align: center;">前期83%⇒後期81%</p>	
<p>B1 体力向上のために、ウォーミングアップや体づくり運動に積極的に取り組むことができましたか。</p> <p style="text-align: center;">前期85%⇒後期83%</p>	

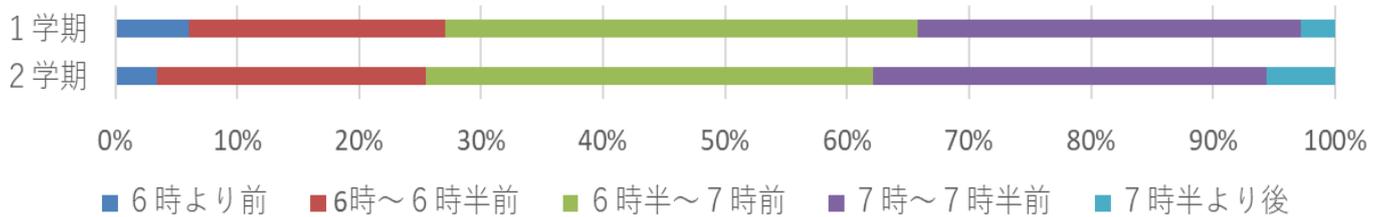
分析評価
 就寝時間やメディアコントロールの前期評価が74～77%であったため、後期では各学年及び学級で指導や振り返りを確実に行いました。また健康チェック週間の取り組み状況も向上しています。保護者の方との連携もとれたために、肯定的な評価の割合が高くなりました。

今後の取組
 今後も健康維持のための呼び掛け等の活動を学校全体で取り組んでいきます。楽しく活動でき、体力の維持・向上にもつながる体づくり運動を取り入れます。準備運動のやり方などについても、適宜声かけをしていくことで主体的に運動に取り組む生徒を増やしていきます。

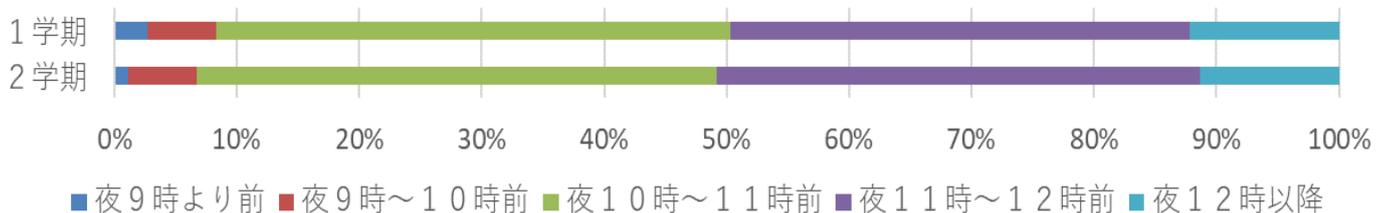
データでみる今中生の家庭での生活 生徒アンケートの結果 ～今中生の改善すべき点について～

【見附市共通アンケート】生徒アンケート（上段：1学期 下段：2学期）

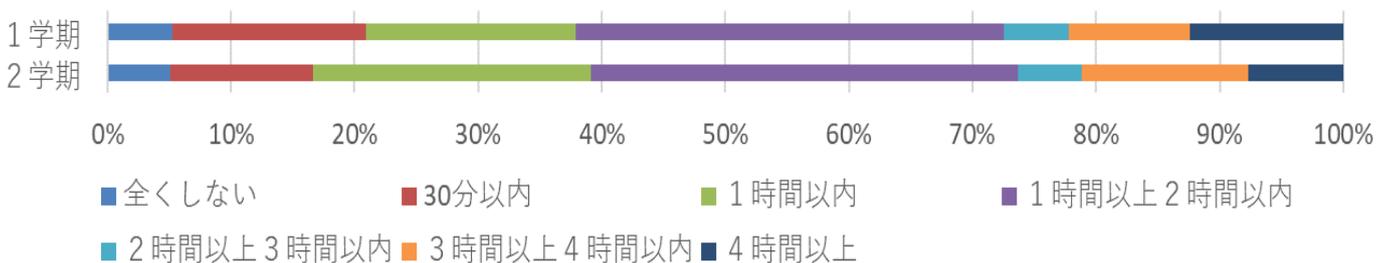
1 普段(月曜～金曜日)、何時間ごろ起きますか。(目安 7時前)



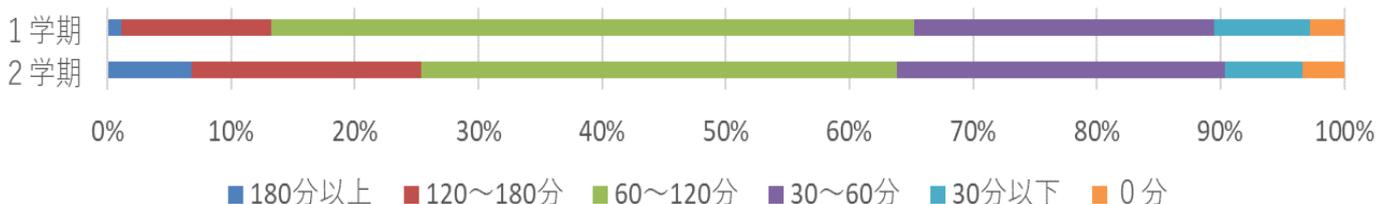
2 普段(月曜～金曜日)、何時間ごろ寝ますか。(目安 夜11時まで)



3 普段(月曜～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネットをしますか。



4 普段(月曜～金曜日)1日あたりどのくらい家庭学習をしていますか。(目安 1年70分、2年80分、3年90分)



【アンケート結果より】

平日7時以降になって起床する生徒の割合は1学期34.3%→2学期37.8%、平日夜11時以降に就寝する生徒の割合は1学期49.7%→2学期50.8%でした。また、平日のスマホなどでの通話やメール、インターネット利用については、使用時間が1時間以内の生徒の割合は1学期32.0%→2学期34.5%、使用時間が2時間以上の生徒は1学期23.2%→2学期23.2%でした。家庭学習では平日120分以上学習している生徒の割合は1学期13.3%→2学期25.4%でした。1時間未満と答えた生徒は1学期34.8%→2学期36.2%でした。

子どもの成長には学校だけでなく家庭での過ごし方がとても大切です。就寝・起床、家庭学習、読書、余暇（ゲームやスマホの使用）、習い事や手伝いなどの時間を子どもが自分自身で管理すること（自主・自律）が、知徳体のバランスのとれた成長に繋がっていくはずで、引き続きご協力をお願いいたします。